

函館工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	マネジメントⅡ
科目基礎情報					
科目番号	0160		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	物質環境工学科		対象学年	5	
開設期	前期		週時間数	1	
教科書/教材	『イノベーションと企業家精神』 (P.F.ドラッカー、ダイヤモンド社)				
担当教員	臼田 悦之, 鳴海 雅哉				
到達目標					
1.社会的に責任のある組織の在り方について考察する。 2.効果的なトップマネジメント(戦略)の在り方について考察する。 3.ドラッカーのいう「イノベーション」について理解する。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	社会的に責任のある組織の在り方について考察し、身の回りで実践しようとする。		社会的に責任のある組織の在り方について考察する。		社会的に責任のある組織の在り方について考察できない。
評価項目2	効果的なトップマネジメント(戦略)の在り方について考察し、身の回りで実践しようとする。		効果的なトップマネジメント(戦略)の在り方について考察する。		効果的なトップマネジメント(戦略)の在り方について考察できない。
評価項目3	ドラッカーのいう「イノベーション」について理解し、企画しようとする。		ドラッカーのいう「イノベーション」について理解する。		ドラッカーのいう「イノベーション」について理解できない。
学科の到達目標項目との関係					
函館高専教育目標 D 函館高専教育目標 E					
教育方法等					
概要	4年次「マネジメントⅠ」の内容を踏まえ、本授業では、P. F. ドラッカーのマネジメント論をより深く学ぶことを通して、社会・人間・文化について多面的・多角的に考察しながら、自己の在り方生き方を考えるとともに、組織の在り方、戦略の在り方について検討する。				
授業の進め方・方法	① 知識を行動に具体化する。 ・マネジメントの意義や課題について基本的な知識の定着をはかり、企業や病院等の組織の社会的責任について理解を深める。ただし、一般社会では知識量よりも行動が重視される。ゆえに、授業中に接した情報を知識に転換し、行動に具体化することを意識すること。 ② リーダーとしての資質を身に付ける。 ・哲学はものの見方や人間としての生き方を考える学問である。ただし、現代における人間の生き方の前提は、「行動に責任をもつこと」である。ゆえに、行動に責任を持つリーダーに求められる資質について意識すること。				
注意点	○ 学習上の助言 ・授業は講義だけでなく、毎時間、ペアワーク・グループワーク等を行う。 ・予習としてテキストの指示された部分を通読し、簡単な内容の要約を作成しておくこと。 ・新聞(全国紙が望ましい。また、複数の新聞を読むこと。)の政治・経済記事や社説を読む習慣をつけること。 ・テキストにある専門的経済用語等については、事前に調べておくこと。 ※JABEE教育到達目標評価：発表50% (D-2: 50%、D-3: 50%)、課題40% (D-3: 50%、E-1: 50%)、ポートフォリオ10% (D-2: 50%、D-3: 50%)				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス ドラッカー「マネジメント」についての確認	講義の概要が理解できる。 ドラッカー「マネジメント」の概要が理解できる。	
		2週	教科書『イノベーションと企業家精神』概要解説①	教科書の概要が理解できる。	
		3週	教科書『イノベーションと企業家精神』概要解説②	教科書の概要が理解できる。	
		4週	教科書『イノベーションと企業家精神』概要解説③	教科書の概要が理解できる。	
		5週	『イノベーションと企業家精神』分担発表準備①	分担発表のための準備を進めることができる。 発表箇所の内容を理解し、まとめることができる。	
		6週	『イノベーションと企業家精神』分担発表準備②	分担発表のための準備を進めることができる。 発表箇所の内容を理解し、まとめることができる。	
		7週	『イノベーションと企業家精神』分担発表準備③	分担発表のための準備を進めることができる。 発表箇所の内容を理解し、まとめることができる。	
		8週	『イノベーションと企業家精神』分担発表準備④ ※前期中間試験は実施しない	分担発表のための準備を進めることができる。 発表箇所の内容を理解し、まとめることができる。	
	2ndQ	9週	『イノベーションと企業家精神』分担発表①	分担発表のための準備をし、適切に発表できる。 発表箇所の内容を理解し、まとめることができる。	
		10週	『イノベーションと企業家精神』分担発表②	分担発表のための準備をし、適切に発表できる。 発表箇所の内容を理解し、まとめることができる。	
		11週	『イノベーションと企業家精神』分担発表③	分担発表のための準備をし、適切に発表できる。 発表箇所の内容を理解し、まとめることができる。	
		12週	『イノベーションと企業家精神』分担発表④	分担発表のための準備をし、適切に発表できる。 発表箇所の内容を理解し、まとめることができる。	
		13週	『イノベーションと企業家精神』分担発表⑤	分担発表のための準備をし、適切に発表できる。 発表箇所の内容を理解し、まとめることができる。	
		14週	『イノベーションと企業家精神』分担発表⑥	分担発表のための準備をし、適切に発表できる。 発表箇所の内容を理解し、まとめることができる。	
		15週	前期末試験は実施しない		
		16週	『イノベーションと企業家精神』分担発表⑦	分担発表のための準備をし、適切に発表できる。 発表箇所の内容を理解し、まとめることができる。	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	発表	課題	ポートフォリオ	態度		その他	合計	
総合評価割合	50	40	10	0	0	0	100	
基礎的能力	25	20	5	0	0	0	50	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	25	20	5	0	0	0	50	